

最優秀賞

番号	高校	表題	グループ	発表者	審査員・投票者の主なコメント
HSP-1	静岡県立磐田南高等学校	紫⇄茶 花色変化のメカニズム	生物部	黒川直杜・中村一貴	テーマがユニークで、発想がおもしろい。問題提起から考察、結論までよくつながっていた。
HSP-22	佐野日本大学高等学校	植物における音の影響		武本侑子・佐藤優紀	面白い課題で、実験もよく工夫されていた。元氣なプレゼンテーションでわかりやすかった。
HSP-21	佐野日本大学高等学校	プラナリアの条件反射実験		和田昂大	高校生として良く考えられた実験であった。装置開発、統計的解析、今後の課題も良かった。
HSP-8	市川高等学校	フロリダマミズヨコエビの生息域拡大の原因について		伊達葉月・飯田雄一郎・小澤迪英	良く考えて実験し、ポスターもわかりやすかった。
HSP-7	岐阜県立恵那高等学校	アレロパシーについて	SSH 生物班	松葉萌香・中村友香・田口夏実	根の抽出液と土壌の抽出液を比較して考察しているところがよかった。

優秀賞

HSP-36	茨城県立日立第一高等学校	ヒカリモの不思議な生態の観察	SSクラス科学研究	蛭田理美・佐藤萌美・遠田萌・佐藤実希	難しい観察をしっかりとこなし、観察結果をよく記述していた。
HSP-39	青森県立三本木農業高等学校	米ぬかをを用いた嗜好性の高いドッグフードの開発	動物科学科 愛玩動物研究室	小山田聖那・井上沙織	簡単な発想から実用化を目指した。情熱が感じられ、質疑応答もはっきりしていた。
HSP-37	茨城県立日立第一高等学校	アサガオの葉柄の屈性について	生物部	清水棕太・堀江真緒・笹平陸・水庭卓也・鈴木裕太・松永岳大・蛭田江美香	発想も、実験装置の開発も、説明の仕方も、よく工夫されていた。
HSP-16	石川県立小松高等学校	レインボー植物の作出	生物部	松田健太郎・道場貴大・北村理咲子・山岸美貴	自分たちでよく考えていた。説明もわかりやすかった。
HSP-20	岡山理科大学附属高等学校	粘菌の考える地域ネットワーク	科学部高2チーム	築地克弥・松田千夏・鈴木貴博・松野哲朗・坂東潤一郎	楽しそうな実験で、独自の工夫もあった。
HSP-49	法政大学女子高等学校	ミドリゾウリムシとクロレラの細胞内共生に関する研究		飯田 夏実・熊崎 彩葉	アイデアが良く、面白い実験だった。不十分な点もよく把握されていた。
HSP-3	東京都立戸山高等学校	カイヅカイブキの枝の向きの意味	SSH探究基礎有志(2年)	小山田創・平吹有香・御子柴みなも	高校生らしい着想で、身近な対象をよく観察していた。研究を良く理解し、説明も上手だった。
HSP-30	明治学園高等学校	新種!! トバタアヤメを含むアヤメ属植物の分子系統解析 ~保存株発見から55年~	SS研究会(パイオ実習班)	徳永貴之・林駿佑・中吉咲樹・山崎七恵・綾田衣里子・茅島加奈子・山本倅子・前田佳子	根気強く継続されている研究である。
HSP-9	市川高等学校	ナズナの抽出物がメダカに及ぼす効果		岡島智美	実験の進め方が理にかなっている。説明もわかりやすかった。
HSP-25	九州国際大学付属高等学校	発酵性酵母の分離と製パン試験		福山紗英子・八木葉奈子	自らの興味に基づく研究で、説明も熱心でよく理解されていた。

審査員特別賞

HSP-28	山形県立村山農業高等学校	分枝するひまわりの生育特性調査: 1株に多くの花を咲かせたい	農産技術部	武田麻里・清水さくら	興味深い研究で、きちんとデータがとられていた。
HSP-4	青森県立名久井農業高等学校	赤色光によるストックの伸長制御	草花専攻班	荒谷優子	データの質が高く、オリジナル性もあった。
HSP-5	青森県立名久井農業高等学校	人工光を活用した山菜栽培	チーム・フローラフォトニクス	梅花和哉・阿部加奈江・日沢亜美・逸見愛生・砂沢愛依・佐々木里奈	着目した視点に新しさを感じた。
HSP-31	東海大学付属高輪台高等学校	タイリクバラタナゴのメスの好むオスの特徴	SSH課題研究	並木 涼・藤城 翔太郎	とりあげたテーマが面白く、実験方法もよかった。
HSP-27	聖望学園高等学校	ねずみは色を識別できるのか!? ハツカネズミを使った研究	科学部	清水 崇宏・石坂 洋也・外谷 和輝・渡辺 陽平	目的を明確に設定し、それに合わせた実験が行われていた。